MIKI ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

# 三木ロータリー週報

会長・稲見　秀穂　　幹事・横尾加名子　　S.A.A. 石井　盛久　　クラブ会報委員会―発行

例会日・毎週金曜日12:30～13:30　例会場・三木商工会館４階大会議室　ＴＥＬ(0794)82－3190

事務局・兵庫県三木市本町２丁目１番18号　三　木　商　工　会　館　内　ＴＥＬ(0794)82－8880　ＦＡＸ(0794)82－0909

URL：www.miki-rc.jp　E-mail：info@miki-rc.jp

## Rotary よいことのために手を取りあおう

### 三木ロータリークラブ2025-2026年度テーマ　さりげなく

２０２５年１１月１４日　　NO.　１７（NO.３２８２）

次回のプログラム　１１月１４日　会員卓話　前田 静也 会員「自己紹介と阪神淡路大震災から 30 年」

今回のプログラム　１１月２１日　会員卓話　関田 大介 会員「自己紹介と趣味の話」

本日のソング　我等の生業

次回 11 月２１日のお弁当は松葉さんです　S.A.A.

ホームページ会員専用
ＩＤ：mikirc
PW: miki1230

| 出席記録 | 会　員　数 | 出 席 者 | 当日出席率 | メークアップ他 | 出席率 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本　　日 | 50 名中 | | | | |
| １１月　７日 | 50 名中 | 36 名 | 35/42　85.71% | １名 | 37/42 88.09% |
| １０月２４日 | 50 名中 | 35 名 | 35/40　87.50% | ０名 | 35/40 87.50% |

◇１０月２４日のﾒｰｸｱｯﾌﾟ出席者　　◇１１月　７日のﾒｰｸｱｯﾌﾟ出席者　津村敏弘君（国際奉仕セミナー）

## 前回例会２０２５年１１月　７日の記録

**【会長の時間】**

皆さんこんにちは。稲見会長の代理、副会長の坂井です。

先日、息子の結婚式で東京へ行き、親族代表の挨拶を任されました。列席者はスタートアップ社長など、東京で活躍する若者ばかり。関西のおっさんの話なんて面白くないだろうと思いつつ、「ここは関西の笑いで！」と考えました。伏線を張り巡らせ、最後に一気に回収する構成で臨むと、会場は大爆笑。「お父さん、めちゃくちゃ面白かった」と多くの方が声をかけてくれ、関西のノリは東京でも通じると確信しました。

この経験から、喜怒哀楽を伴った情報は人の心に強く残ると改めて実感しました。どんなに素晴らしい話でも「おもんない」と感じれば記憶に残りません。来年度まで、どうすれば「楽しい RC」「笑える RC」が実現できるかを考えていきたいと思っております。

但し、やりすぎには注意。後で家族が集まった際、息子たちは褒めてくれましたが、娘からは「私の結婚式では絶対喋らせへんからね」と釘を刺されました。

**【幹 事 報 告】**

・次回理事会は 21 日金曜日の例会終了後に開催します。また、その日は福永ガバナー補佐が来られます。

・2025-26 年度地区行事 スポーツ大会の案内が来ております。

**【委員会報告】**　**出席委員会**　本日の出席は会員 50 名中 36 名出席で出席率は 85.71%です。入会記念の報告をしました。

**親睦委員会**　12 月 5 日(金)に開催する家族同伴忘年例会の回覧を回します。11 月の結婚記念の報告とお誕生日のお祝いをしました。

## ニコニコ箱　(*^-^)

合計　¥1,009,000 円

**坂井　幸嗣君**　初めて「会長の時間」で話をさせて頂きます。面白い話ができるようにがんばります！！

**西垣　孝信君**　あまり楽しい事がありませんがニコニコします。昨日のコンペで誕生日まで 24 日不足でエージシュートを逃しました…残念。

**岡島　正造君**　先週の週末大きなトラブルもなく天候に恵まれ無事三木金物まつりを終える事が出来ました。河原副実行委員長。畑中宮司・大宮八幡宮のおかげと感謝します。ありがとうございました。

**河原　秀行君**　金物まつり、沢山のご来場ありがとうございました。今日は長女の音楽会の為、欠席します。申し訳ございません。

**室谷　啓介君**　お誕生日の和菓子、ありがとうございました。私も還暦となりました。

**岡田　紹宏君**　先月、結婚のお祝いにきれいなお花を頂きました。ありがとうございました。

**今井　章仁君**　誕生日のお菓子いただきありがとうございました。家族で仲良くいただきました。

**猪子　睦男君**　結婚記念日のお花が銀行に届きました。忘れかけていたのでとても助かりました。ありがとうございました。

## クラブフォーラム　米山小学会・Ｒ財団委員会　久野 大介 委員長

先日、ポートピアホテルで開催された国際奉仕セミナーに参加した際、ポリオ募金への貢献で表彰を受けました。この場を借りて、皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。本日は、もう一つの重要な国際奉仕事業である米山記念奨学事業についてご説明いたします。ロータリー米山記念奨学事業は、1952 年に始まった日本独自の事業で、現在は全 34 地区が参加する他地区合同活動となっています。日本で学ぶ外国人留学生を支援するこの事業は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会によって運営され、財源の全てを皆様からのご寄付で賄っています。

この奨学金の最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。奨学生は単に経済支援を受けるだけでなく、世話クラブの例会や活動に参加し、ロータリアンと直接交流します。カウンセラー経験者からは「文化や言葉の違いを超えた交流で人生が豊かになった」「家族が増えたような気持ちになった」という声が多く寄せられています。

重要なのは、これが単なる経済支援ではないという点です。国際理解と親善を深め、日本と出身国の平和を推進する人材育成事業なのです。日本には約 33 万 7 千人の留学生がいますが、その中から 970 人を厳選し、ロータリーの理念を学んでもらっています。カウンセラーの愛情を通じて日本文化を学び、世話クラブの事業を通じて奉仕の精神を身につけることで、将来両国の架け橋となる国際人を育てることが使命です。

この事業は、日本ロータリーの父と呼ばれる米山梅吉翁の名を冠していますが、翁の財産で作られたものではありません。米山梅吉翁は 1920 年に日本初の東京ロータリークラブを設立した実業家で、生涯を通じて奉仕に情熱を傾けた人物でした。戦後の 1949 年、国際ロータリーに復帰した日本のロータリーが、梅吉翁の功績を永遠に偲ぶ有益な事業として構想したのがこの奨学事業の始まりです。アジアから優秀な学生を招き、二度と戦争を繰り返さないために平和な日本を肌で感じてもらいたいという願いが込められていました。

現在、米山記念奨学金は外国人留学生を対象とする民間奨学金として国内最大規模となっています。累計では世界 134 の国と地域から 2 万 4,830 人を支援してきました。中国籍の奨学生が約 40%を占めることについて疑問を持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、これは日本の高等教育機関で学ぶ留学生の 41.2%が中国人であることが理由です。各地区では推薦者が一カ国に偏らないよう工夫しています。

選考では、将来の目標や留学目的の明確さ、交流への熱意、人柄、コミュニケーション能力を総合的に評価します。珍しい国の出身だから、成績が優秀だからという理由だけでは合格しません。将来、日本と世界を結ぶ架け橋となり、ロータリーの良き理解者となる人材かどうかを重視しています。

昨年度の寄付金収入は 13 億 3052 万円でした。寄付には、クラブから会員数に応じて納める「普通寄付」と、個人・法人・クラブから任意でいただく「特別寄付」があります。特別寄付は累計 10 万円で「米山功労者」として感謝状が、50 万円でピンバッジが贈られます。また、寄付は税制上の優遇措置の対象となります。

支援した奨学生は卒業後「米山学友」となり、世界中で活躍しています。2 年ごとに開催される米山学友世界大会には 38 カ国から参加があり、誰もが「日本に恩返しがしたい」と語っています。台湾や韓国の学友会は日本人留学生への奨学金支給を続け、スリランカでは文房具寄贈や海岸清掃などの奉仕活動を行っています。

米山記念奨学事業のバッジは、ロータリアンと奨学生のハートが重なり合うデザインです。これは国を超えた信頼関係と、慈愛と奉仕に支えられる事業の本質を表しています。最後になりますが、三木 RC の寄付実績として 2025 年 3 月時点では合計 24 万 5 千円となっております。皆様の今後のより一層のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。